

MSSA（マルチサテライトスイッチアダプター） 接続方法

以下、作業方法をよくお読みの上、車両への取り付けを行ってください。

なお、本アダプター取り付けに伴う車両の改造は、ご自身の責任の範囲内で行ってください。また、本アダプター取り付けに伴う、本アダプター及び車両の故障に対する補償はできかねますのでご了承ください。

バッテリーを接続したままでの作業は大変危険ですので、必ずバッテリーケーブルを外してから作業を行ってください。

わかりづらい言葉を下記のような名称で記述しています。

アダプター	本サテライトスイッチアダプター。お譲りさせていただいたもの。
サテライトスイッチ	車両についている今まで使えなかったスイッチ（純正リモコン）。プジョーの場合は「ステアリングリモコン」と読みかえてください。
ACC 電源	アクセサリ電源。一般的な車両の場合はイグニッションキーを1つまわすことでオーディオ類の電源が入る。メガーヌ等の場合は、キーを挿してブレーキを踏まずにスタートボタンを押す。

アダプター各部の詳細は以下のとおりです。接続や各部を配置する際の参考にしてください。

本体	透明ビニールで覆われている一番大きいものが本体です。ここには、IC チップ、ステータス LED（またはスピーカ）、赤外線受信部、電源回路が含まれています。
赤外線受信部	本体内左部中央（ケーブルが出ている反対側）に配置されている銀色（又は黒色）の部品です。学習するリモコン情報を受信するもので、学習時に利用します。学習終了後は隠してしまっても問題ありません。
赤外線送信部	白/緑ケーブルの先についている透明な薄緑色の LED です。学習したリモコン情報である赤外線をここから送信しオーディオを操作します。そのため、オーディオ機器が受信できる箇所に配置しなければなりません。
6色ケーブル 又は 8色ケーブル	サテライトスイッチと接続するためのケーブルです。灰、橙、茶、青、紫、黄（、赤、黒）の6色（又は8色）で構成されています。MeganeII 用はケーブルの先に白色（Peugeot 用は黒色）のコネクタが接続されています。その他の車種は純正配線をカットして接続します。
電源ケーブル	赤と黒の対になったケーブルで、車両のアクセサリ電源にヒューズをはさんで接続します。ヒューズは必須ではありませんが、アダプター保護のためにできればつけるようにします。

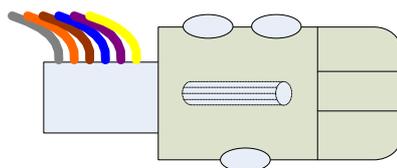
【接続方法】

1. サテライトスイッチに接続されている配線にアクセスできるようにします。
 メガーヌ II では、ステアリング下部のカバーをはずします。トルクスねじ3本と左右にツメありますのでそれをはずします。次に上部カバーを外します。
 他車種をお乗りの方でわからない方はご連絡いただければ調査いたしますが、できるだけご自身でお調べいただくようお願いいたします。
 (Peugeot はわかりかねますのでご了承ください)
2. オーディオパネルを外し、ACC 電源およびアースを取れるようにします。
 外し方等はここでは記述しません。
3. 本アダプターとサテライトスイッチを接続します。
 車種によって接続方法が違いますのでご注意ください。

※もともと接続されているケーブルは必ず切断(サテライトスイッチから切り離す)してください。接続したままですと、純正オーディオを操作するための機器と混信してしまい、正しく操作ができなくなってしまいます。

【MeganeII】

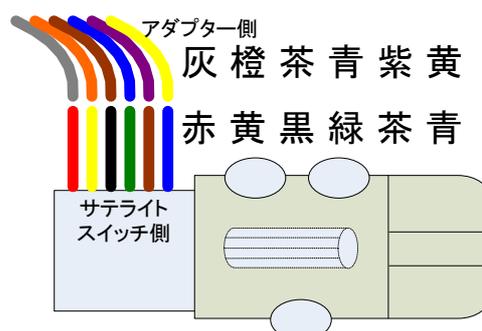
- 3-1. サテライトスイッチに接続されている、純正コネクタを外します。
- 3-2. 本アダプターに接続されている白色コネクタを、サテライトスイッチに下図の配色となるよう接続します。(黄色ケーブルがサテライトスイッチ寄りになります)



- ※ このコネクタは純正コネクタとは形状が違います。したがって逆に挿すことも可能ですので注意してください。また、外れ防止のツメがありませんが、きつめのコネクタですので容易に外れることはなく、またきついからといってサテライトスイッチに損傷を与えることもありません。(純正コネクタを入手できる方がいらっしゃいましたら、ご一報いただければ幸いです)

【Kangoo, ClioII Ph1, Avantime】

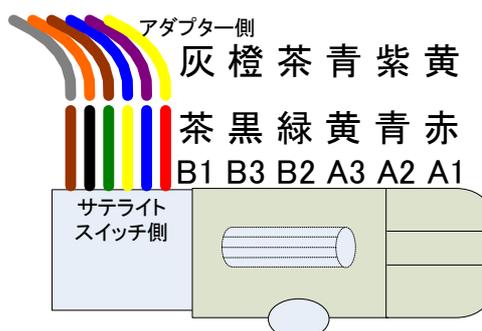
- 3-1. サテライトスイッチに接続されているケーブル6本を適当な長さで切断します。
- 3-2. 切断したケーブルと本アダプターを下記の配色どおり配線します。



※[参考] センターディスプレイ裏側にサテライトスイッチと接続されているコネクタがあり、このコネクタを外すことで純正配線をカットする必要がなくなります。ただし車種によっては、外気温センサへの配線も同コネクタの場合がありますのでご注意ください。

【ClioII Ph2, Laguna】

- 3-1. サテライトスイッチに接続されているケーブル6本を適当な長さで切断します。
- 3-2. 切断したケーブルと本アダプターを下記の配色どおり配線します。



※[参考] センターディスプレイ裏側にサテライトスイッチと接続されているコネクタがあり、このコネクタを外すことで純正配線をカットする必要がなくなります。ただし車種によっては、外気温センサへの配線も同コネクタの場合がありますのでご注意ください。

【Peugeot】

- 3-1. ステアリングリモコンに接続されている、純正コネクタを外します。
- 3-2. 本アダプターに接続されている黒色コネクタを、ステアリングリモコンにコネクタの向きを確認し接続します。(配線順は下記表示と異なる場合がありますが、特に問題はありません)

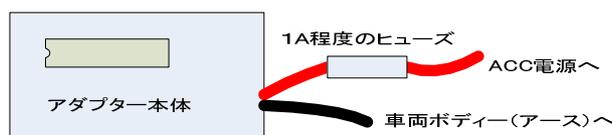


【上記以外の車種】

- 3-1. サテライトスイッチに接続されているケーブル6本を適当な長さで切断します。
- 3-2. 切断したケーブルと本アダプターを上記のいずれかの方法で配線します。(詳細は不明ですがご了承ください。動作確認いただけましたらご一報いただければ幸いです)

4. ACC 電源、アースを接続します。

できればアダプターと ACC 電源の間に 1A 程度のヒューズを付けるようにしてください。



※アダプター本体にも保護回路を設けていますが、その保護回路を保護するためにもヒューズの取り付けをお勧めします。

5. 接続を確認後、バッテリーを接続し赤外線送信部をオーディオに向けて動作確認を行います。(動作確認に必要な学習手順は「学習方法」をお読みください)
6. 動作確認が取れたら、赤外線送信部及び受信部を適当な位置に配置します。

【赤外線送信部】

ここより送信されるリモコン情報である赤外線を、オーディオ機器が受信できる位置に配します。例えば、オーディオ横の化粧パネル、ステアリングカバー横、サイドブレーキ付近などがあります。受信できることを確認してから固定するようにしてください。

なお Peugeot の場合、既に車両購入時より赤外線送信部(純正送信部)がある車種があります。そういった車種の場合、アダプターに付属の赤外線送信部をカットし、ギボシ端子や配線分岐端子などで純正送信部に取り付けることが可能です。

(本アダプターでは純正送信部のコネクタには対応しておりません。ご了承ください。)

【赤外線受信部】

学習時にリモコン情報を受信するものですので、学習の際にオーディオリモコンから送信される赤外線が受信できる位置に配置してください。学習後は特に見えなくても問題ありませんが、再学習させたいときなどを考慮して配置するほうが良いかと思います。

以上で接続は完了です。